

魅力ある学校づくり推進事業計画書

1 取り組むテーマ（目指す学校づくり）

「地域に根ざした連携から、共創の学校作り」

2 テーマ設定の背景、現状等

本校は、嬉野市の中心部に位置し、学級数20学級、通級教室2学級、児童数535名、PTA会員372名、教職員32名の学校である。

今まで、地域の中の小学校として地区の農家と連携した米作り体験活動・地区の長崎街道の歴史探究・地域の温泉町探検・地域の産業お茶づくり学習などを実施し、地域に根ざした授業づくり・学校づくりを目指してきた。

今後は、更に地域に学校を開き、地域との連携協力をより円滑にし、地域に貢献する学校づくりを推進する必要がある。

この地域は、歓楽街を有していることから、不定期の児童の転出入がある。この地域に長く生活している方と、そうでない方

の混在化が見られる。そ

のため、地域活動やPT

A活動に対しての取り組

みの差が大きい。また、

就労状況も多様化して、

子育てに対する不安や悩

みを抱えている家庭も少

なくない。そのような中、

子どもの生活習慣の形成

や学習習慣の形成にも、

二極化が見られ、中間層

が少なくなっている

現状にある。そのことは、

全国学力学習状況調査等でも結果として出ている。

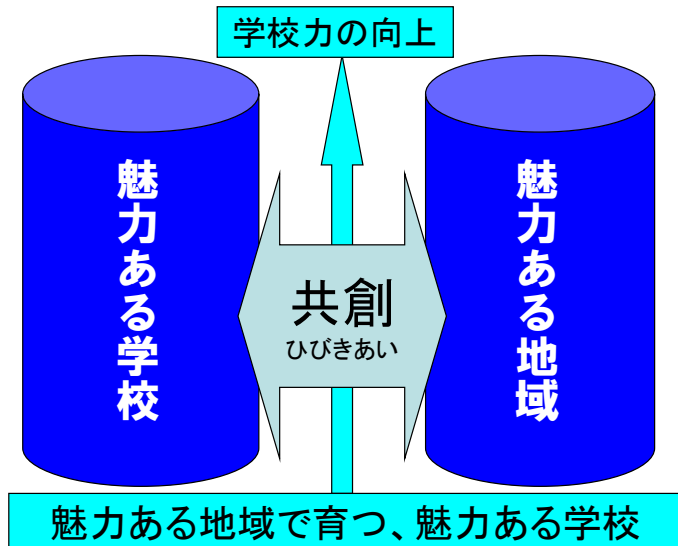
以上のような現状に鑑み、地域に根ざした連携から、共に学校を創るというテーマを設定した。

魅力ある学校は、魅力ある地域で育つと考え、学校・家庭・地域が手を携えないと地域に育つ子供たちを健やかにそだてることは難しい。

地域の力を借りながら、地域と情報を共有しながら「相互批判」から「相互理解」に向かう（図1）のような体系を考えている。

地域と共に創る学校

図1



また、(図2)のような体系化の中で、地域と共に嬉野小学校の子供たちを育てたいと考えている。

魅力ある地域作りの発信を、まずは、この学校から始めようとする。学校が変われば地域が変わる、地域が変われば学校が変わることを基本にしながら、この事業に取り組みたい。そのはじめとして、学校から地域へ呼びかけ、「地域連携協議会」を立ち上げ、学校の現状をマイナス面プラス面含めて多くの情報を共有していただき、学校の頑張りも伝えていく中で、「相互理解」の地域風土を醸成したいと考える。



3 取り組むテーマの成果指標及び目標

成 果 指 標	①地域行事・PTA行事参加者の5パーセント増加 ②地域人材を活かした授業時数の各学年2時間増加 ③活用力に重点を置いた授業研究会（4教科）の実施
成果指標の目標	(現状) ⇒ (目標) ①地区によって参加に偏りがある。 全ての地区での参加者を増やす。 ②学年によって差がある。 全ての学年で2時間は実施する。 ③国語算数だけであった。 4教科において行う。 ※2年目の成果指標目標 ①さらに地域行事・PTA行事がスムーズに運営できるようになる。 ②地域の人材を活かした授業づくりの推進をする。 (赤ペン先生・サブティーチャーの導入による個別指導の充実) ③全国学力学習状況調査結果の向上 (活用力を伸ばす授業づくりの推進) (目標の根拠) ①5年生すべてにおいて農業体験を実施する。 ②リストを作成し各学年で2時間程度は実施する。 ③言語力育成のため特に社会・理科でも活用授業研究会の実施をする。

4 事業期間

平成21年 4月 ～ 平成23年 3月

5 実施内容

(1) 協議・検討のための会議等の設置

主な構成等	人員数	開催予定回数
記載例) 学校教職員、地元 PTA 関係者、地域活動団体 等 ○地域連携協議会 ・地域人材活用部 ・安全安心づくり部 ・地域、PTA 行事部 ○構成員 学校評議員・PTA 代表・区長会・公民館・民生委員・老人会 ・地区 J A・地区商工会・学校教職員・社会体育指導員	21 名 (7 名) (7 名) (7 名)	全体会 3 回 各部会 3 回

(2) 予定している主な調査・研究活動

記載例) ○○地域視察、○○文献調査 等 ○地域資源、人材を活用した教育内容の調査・研究 ○地域資源、人材の調査及びリスト作成 ○先進校・地域の視察

(3) その他、当事業において実施する事項

記載例) ○○推進協議会の設置、○○教育課程の開発、○○パンフレットの作成 等 ○地域行事、PTA 行事、社会体育関係行事などの年間全体計画の策定（パンフレット化） ○取り組み情報の紹介と発信（ホームページによる情報発信） ○全国学力学習状況調査の分析・対策研究会議
--